

N.H.さん

学校名: Universidad Autonoma de Guadalajara (UAG: グアダラハラ自治大学) 附属語学学校
Centro Internacional de Idiomas (外国語センター)

専攻: スペイン語

留学形態: 交換留学

留学期間: 2008年8月～2009年7月

きっかけ

私が大学でスペイン語を勉強しようと決めた理由はいくつかある。言語学に興味があったから、英語以外の言語を身につけたかったから、スペイン語話者は多いから便利だろうと思ったからである。また、「フランス語は女性と、ドイツ語は男性と、スペイン語は神様と話す言葉」という言い方を知り、「神と話す言葉」であるスペイン語を知りたいとも思った。実際に現地で聞いてみると神と話すというよりは生きるためのスペイン語、という感じがした。

グアダラハラの気候

留学前の私はメキシコについて暑いイメージがあり、常夏だと思い込んでいた。しかし、グアダラハラは温暖な気候ではあるがやはり冬はそれなりに寒い。8月と9月は雨季なので、雨が降っているときと朝晩は少し寒い。1日1回は雨が降るので折りたたみ傘を常備しなければならない。11月に入ると寝るときには毛布が欲しくなる。この頃には午前7時前に日が昇り、午後6時半くらいに沈む。12月と1月はさらに寒くなり、朝は2度という日もある。それでも昼間の屋外は半袖でも十分だ。通学時は半袖のTシャツの上にフリースを着てもちょうどいいくらいだった。冬のパジャマとして、タンクトップに長袖セーターを着ていた。というのも一般的なメキシコの家にはストーブなどはないらしい。学校でも日が当たるところを歩いている分には暖かいのだが、教室の中など室内に入ると肌寒い。2月～3月になると朝晩の冷え込みは和らぐが、日中の屋外の気温が30度くらいになる日もあり、日差しがジリジリと暑い。この頃になると、フリースはもういらぬが、Tシャツとパーカーなどの調節できる服装がいいと思う。

UAGでのスペイン語の授業

語学学校の初日には、まずレベル分けのテストを受ける。その結果に応じてレベル1から9までのいずれかのクラスに割り振られるが、実際にそのクラスの授業に出てみて「簡単すぎる」あるいは「難しすぎる」と感じたら、レベルを変えることができる。授業は9:00～10:40が文法、20分間の休憩、11:00～12:40が会話となっている。語学の授業以外では、メキシコ人の学部生が取る授業や外国人学生向けの授業にも出席する。それらの手続きはインテルカンピオオフィス(Oficina de Intercambio)と呼ばれる、大学の国際交流課で行う。

ホームステイ

メキシコ人の家庭がよく分かって、きっと面白い体験ができる。事前にホームステイ先を見学したり、自分で選択できたりする場合などにおいては、下記のような点に注意するとよい。

- 家賃:ドルで払うのかペソで払うのか。
ドル建て払いからペソ建て払いに途中で変えると、毎回支払い時点の為替レートに合わせて払わなければならない場合もある。
- シャワー:熱いお湯がきっちり出るか。
家によってはスイッチを入れないと熱いお湯が出なかったり、家の人に頼まないとスイッチを入れてもらえなかったりする場合がある。冬に水シャワーで済ませたため風邪をひいた人もいた。
- 犬:しつけがされていない犬がいると、室内で糞をしたり、夜も吠えてうるさかったりすることがある。
- インターネット:自分が持ってきたパソコンを自室で使えるか。学校のパソコンは一部が日本語に対応している。
- 1 人部屋か相部屋か:滞在中、継続して一人部屋を使用したい場合は、事前に伝えておかないと、途中から相部屋になったり家賃が変わったりすることがある。留学生の中には留学期間の半分をホームステイで過ごし、残り半分をアパートで友達と暮らしたりシェアハウスで暮らしたりする人もいる。感覚の違うメキシコ人の家庭で問題なく暮らすことには困難が伴うこともあるが、一緒に暮らせばメキシコ人のたくましさや敬虔さが分かるため、とても貴重な経験になると思う。